

林業技術者等の技能向上に向けた取組支援について

1 はじめに

林業は、依然として労働災害の発生頻度が高く、現場技術者の安全意識等の向上が急務となっています。

このため、当室では地域経営推進費事業を活用し、既存林業技術者の技能や安全意識の向上に向けた取組を実施しましたので、その概要を報告します。

2 森林作業道作設研修会の開催

災害に強く、安全で効率的な作業につながる作業道の施工技術を習得するため、沿岸広域振興局管内の技術者や森林所有者を対象に開催しました。

- (1) 日時：令和2年10月13日(火)
- (2) 講師：一般社団法人東北・広域森林マネジメント機構 三木真冴氏
- (3) 参加：16名(宮古9名、岩泉2名、大船渡5名)
- (4) 内容：「丸太組土留工」、「横断排水工(止水ゴム)」及び「路面処理工」等の施工実技。



3 チェーンソー伐倒技術等高度化研修会の開催

伐倒技術の向上及び労働災害を未然に防止するため、宮古・岩泉指導区の技術者を対象に開催しました。

- (1) 日時：令和2年12月3日(木)
- (2) 講師：岩手県伐木技術指導員 畠山辰也氏
- (3) 参加：13名(うち実技は7名)
- (4) 内容：「チェーンソーの点検・整備」及び「スギ大径木並びに間伐木の伐倒技術」の実技。



4 おわりに

研修後に実施したアンケートでは「理解した」、「満足した」との回答が多く寄せられたことから参加者のスキルアップを図ることができたものと考えています。今後も当室では、技術研修会や講習会を開催し、技術者等への支援に努めるほか、新規就業者確保のため中高校生に対する林業PR活動にも取り組んでいきます。